

2021年8月25日
株式会社 キューデン・インターナショナル
九州電力株式会社

バーレーン王国 アルドゥール1 発電造水事業に参画しました
— 九電グループ2件目の中東における発電造水事業、持分出力24万kW —

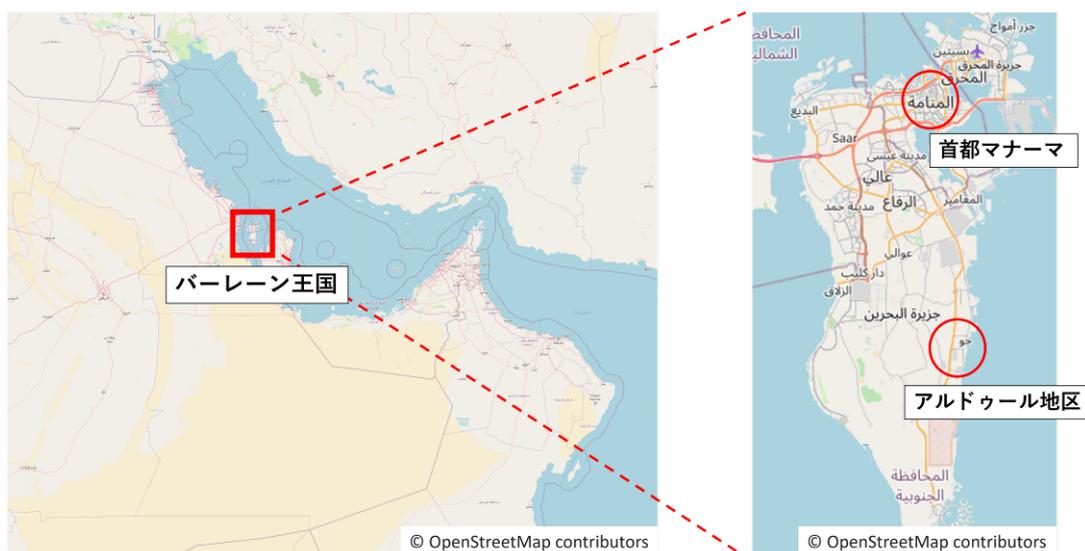
九電グループである株式会社キューデン・インターナショナルは、バーレーン王国において、アルドゥール1 (Al Dur 1) 発電造水事業を運営する事業会社の持分19.8%相当を本日取得しました。

本事業は、バーレーン王国アルドゥール地区において、総出力123万kW（持分出力24万kW）の天然ガス火力発電設備、及び日量約22万トン（持分約4万トン）の海水淡水化設備を保有・運転し、バーレーン電力・水庁に対して長期契約に基づき電力・水を供給しているものです。

本事業は、2020年に参画したアラブ首長国連邦・タウィーラB発電造水事業に続き、九電グループ2件目の中東における発電造水事業となります。

本事業への参画により、九電グループの海外発電事業の持分出力は267万kWとなりました。今後も、これまで培った高い技術力や豊富な経験を活用し、2030年の海外発電事業の持分出力目標（500万kW）達成を目指してまいります。

[所在地]



以上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。